

2. 重点モニタリング調査

2-1. 重点モニタリング調査地域の概況（図 2-1-1）

市街地の中に孤立しているものの、広域モニタリング調査地域の中で最もまとまった自然がある日本平山麓地域から、植生の異なる 3 つの地域を重点モニタリング調査地域に設定した。近年森林の保育や伐採等の作業、管理のための立ち入りがほとんどない状況であり、林道、索道、土場などの新設はなかった。小規模なミカンや茶の生産活動も止み、栽培地が休耕地となった。これらに伴い、森林や農耕地用に開設された道路さえ、管理が届かず荒廃が進んだ。

N1区：静大裏山地区（約 43ha）は、日本平西斜面に位置し、日本平パークウェイの西側から静岡大学キャンパスの東側にかけての地域である。当該地域は約 97%が森林であり、北東部にわずかに耕作地が見られるが、市街地・造成地等は見られない。

N2区：九能山地区（約 54ha）は、日本平南麓の急斜面地にあたり、ロープウェイの日本平南側から九能山東照宮を含む地域である。東照宮西側の柳沢を中心とした地域で、多くの砂防ダムが施工されている。この地域も約 93%が森林である。

N3区：有度山山頂地域（約 36ha）は、有度山山頂から東斜面にかけての、日本平パークウェイをはさむ地域である。西半分が森林、東半分がミカンを中心とする耕作地で、3 地域の中では農地が最も広い。ただし近年休耕地が増え、森林化も進行し、今後もこの傾向が続くと予想される。



図 2-1-1 静岡県重点モニタリング地域概観図

<標準第2次メッシュ地域区画コード: 5233962>
(図の上と左の番号は、第3次地域区画コード)

2-2. 植生調査

2-2-1. 調査方法及び解析方法

植生調査は2回とも同じ調査地点で行われた。調査地点を図 2-2-1①～図 2-2-1③に、調査地点の詳細位置図とメッシュ区分図を図 2-2-1④～図 2-2-1⑥に、第1回調査及び第2回調査の調査内容の詳細を表 2-2-1 に示した。

2回の調査はともに秋季に行われた。

木本層調査では、第1回調査では樹高 5m 以上を対象としたが、第2回調査では、調査要綱で樹高 1.5m 以上を対象とすることが明記されたにもかかわらず、調査データは樹高 2m 以上の個体となっており、小数点以下を四捨五入したのかどうかは不明である。

実生層調査では、第1回調査時は樹高 14m、樹齢（推定）20 年のナワシログミが記載されており、実生層とは考えられないデータまで対象としていた。第2回調査時は、調査要綱に示した条件の通り、調査対象が高さ 150cm 以下であった。

これらから、第1回調査と第2回調査の結果を比較するのは困難であるが、第1回調査と第2回調査の結果の比較を試みた。

まず植生調査の結果を、①群落属性、②群落構造、③木本種の健康度、④実生層、⑤草本層データの5つの項目について解析を行った。解析は2回分の調査結果をまとめて行い、調査結果の比較を試みた。最後にこれら全体の解析結果から調査地の環境の変化について考察を行った。



図 2-2-1① 植生調査地点 N-1 区 (静岡県)



図 2-2-1② 植生調査地点 N-2 区 (静岡県)

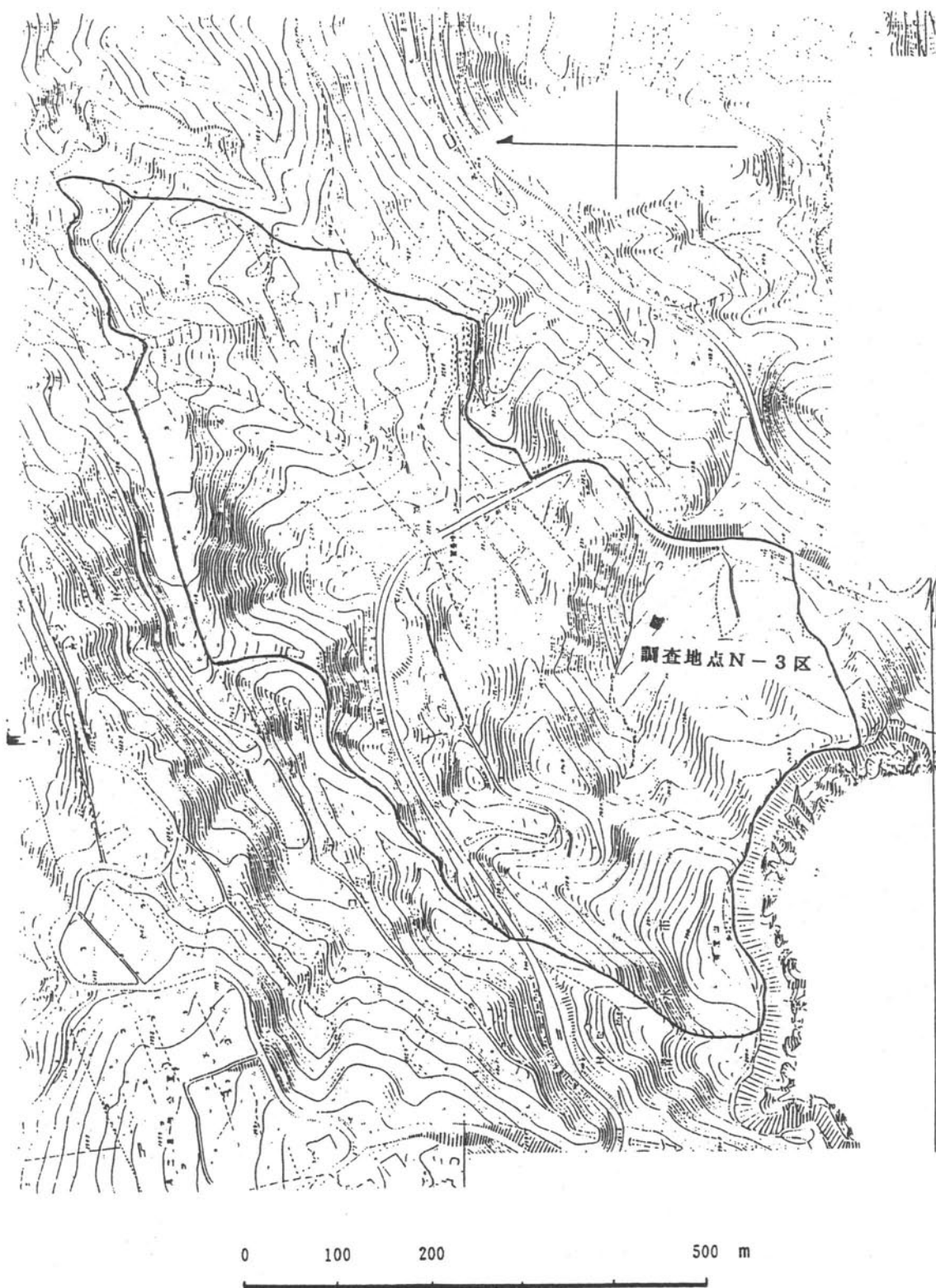


図 2-2-1③ 植生調査地点 N-3 区（静岡県）

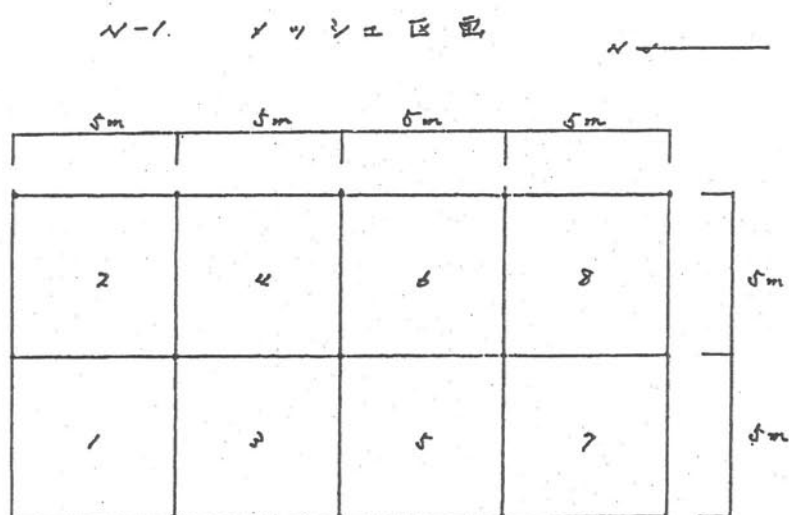
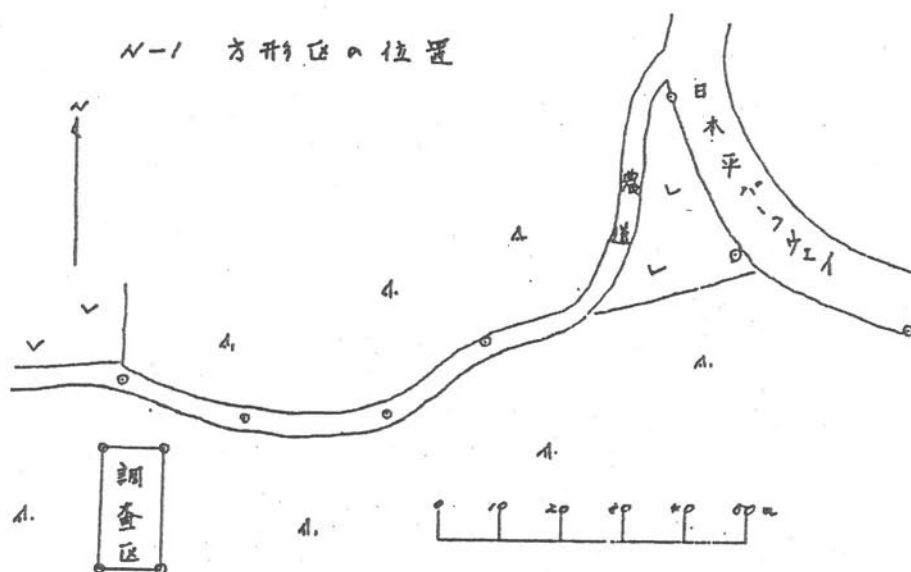


図 2-2-1④ 植生調査詳細位置図及びメッシュ区分図 N-1 区(静岡県)

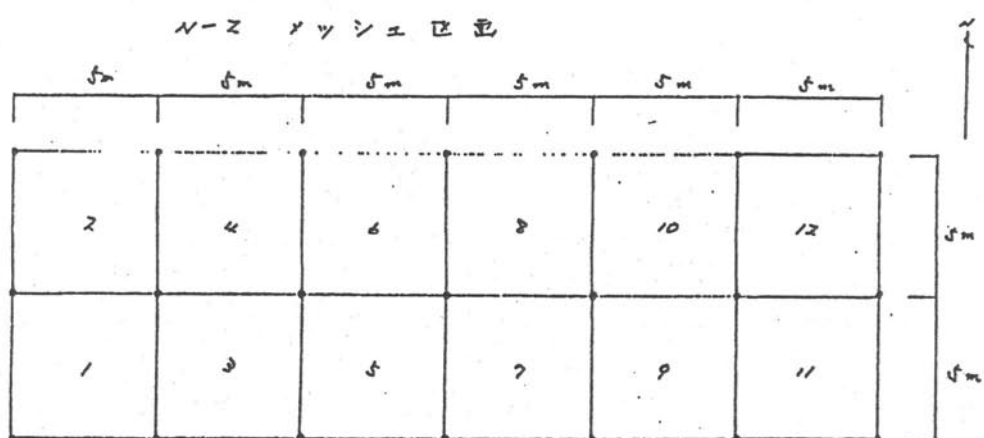
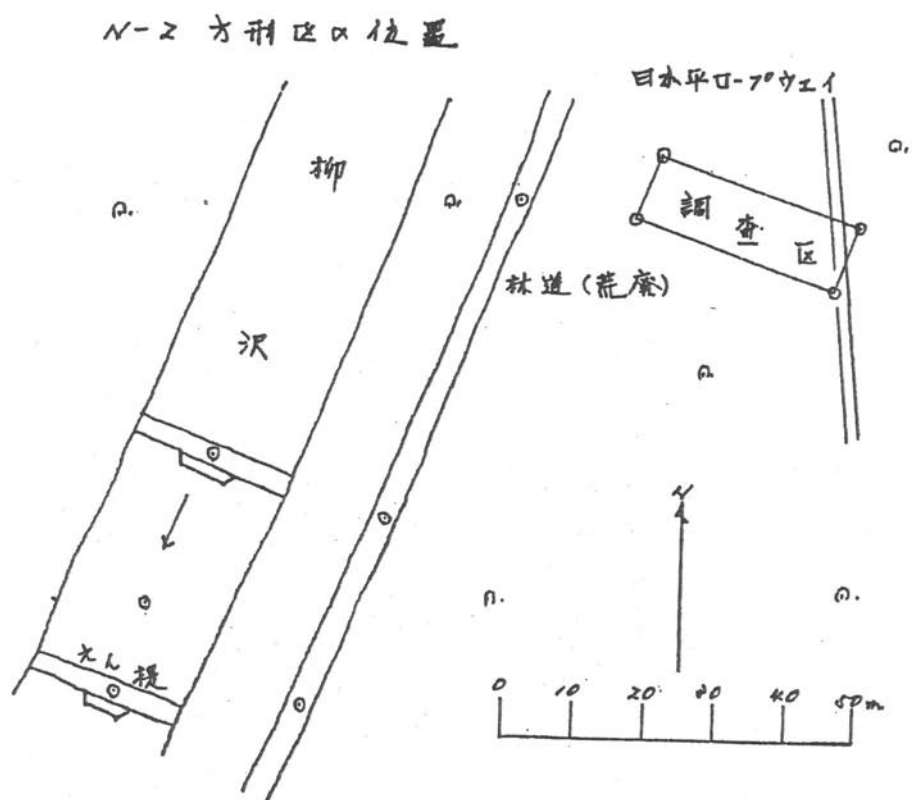


図 2-2-1⑤ 植生調査詳細位置図及びメッシュ区分図 N-2 区(静岡県)

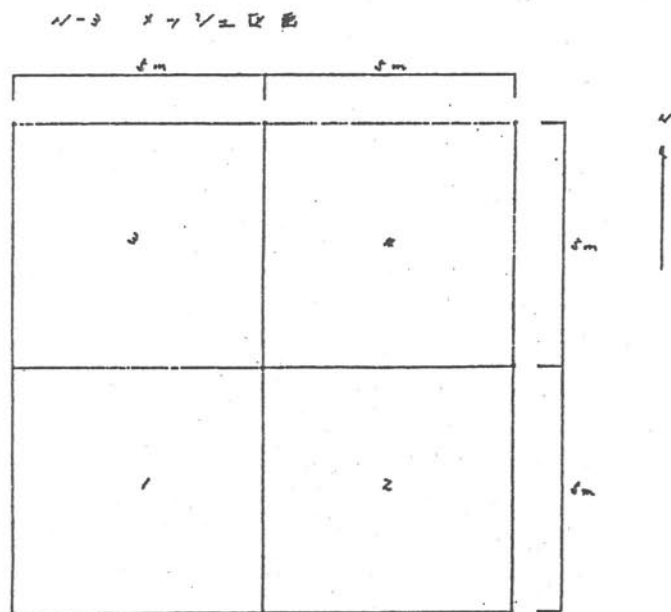
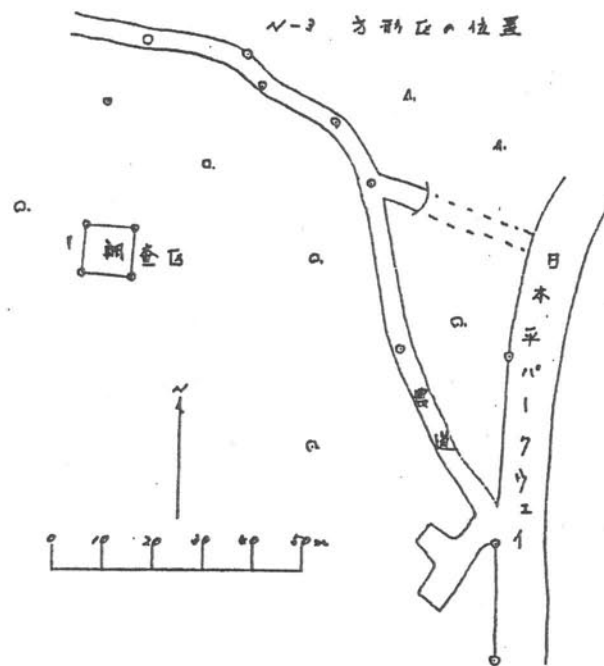


図 2-2-1⑥ 植生調査詳細位置図及びメッシュ区分図 N-3 区(静岡県)

表 2-2-1 調査内容の詳細（静岡県）

項目		第 1 回			第 2 回		
		N - 1	N - 2	N - 3	N - 1	N - 2	N - 3
木本層調査	調査日	1992 10.23	1992 10.23	1992 10.23	1996. 9.26	1996. 10.16	1996. 10.9
	コトラート面積	10m× 20m	10m× 30m	10m× 10m	10m× 20m	10m× 30m	10m× 10m
	コトラート数	1	1	1	1	1	1
	調査対象	樹高 5m 以上			樹高 2m 以上		
	測定項目	SP,DBH,H,HI,Health,XY			SP,DBH,H,HI,Health,XY		
実生層調査	調査日	1992 10.23	1992 10.23～ 11.6	1992 10.23	1996. 9.26	1996. 10.16	1996. 10.9
	コトラート面積	5m×5m	5m×5m	5m×5m	5m×5m	5m×5m	5m×5m
	コトラート数	8	12	4	8	12	4
	調査対象	樹高 14m 以下			樹高 1.5m 以下		
	測定項目	SP,H,Age			SP,H,Age		
草本層調査	調査日	1992 10.23	1992 11.4	1992 10.23	1996. 9.26	1996. 10.16	1996. 10.9
	コトラート面積	5m×5m	5m×5m	5m×5m	5m×5m	5m×5m	5m×5m
	コトラート数	8	12	4	8	12	4
	調査対象	維管束植物			維管束植物		
	測定項目	SP,H,C,VC			SP,H,C,VC		

注 1：木本層の測定項目の凡例は以下の通りである。

SP：種名 DBH：胸高直径 H：樹高 HI：葉群下高 Health：健康度
XY：位置

注 2：実生層の測定項目の凡例は以下の通りである。

SP：樹種 H：高さ

注 3：草本層の測定項目の凡例は以下の通りである。

SP：樹種 H：高さ C：被度 VC：植被率